

**記入例**

※エクセルの場合、Altキー+Enterキーを押すと改行できます。

**硫酸化物の総量規制に係る計算表**

大気汚染防止法・様式第1・別紙4

(1) 施設明細表

前項 別紙1 記入要領の⑧を参照ください。

番号	施設名 (項番号) (設置年月日)	① 原燃料 の種類	② イオウ分 (%)	③ 比重	定格運転時		通常運転時		⑥ 換算 係数	⑨ 定格使用量の重油換算量		⑩ 通常使用量の 重油換算量 W' (kL/h)	⑪ 備考 (脱硫効率等)
					④ 定格使用量 (kL/h, Nm <sup>3</sup> /h)	⑤ 排出SO <sub>x</sub> 量 (Nm <sup>3</sup> /h)	④ 通常使用量 (kL/h, Nm <sup>3</sup> /h)	⑤ 排出SO <sub>x</sub> 量 (Nm <sup>3</sup> /h)		W (kL/h)	Wi (kL/h)		
1	NO.1 暖房用ボイラー 項1号 S50.14	A重油	0.2	0.89	0.54 kL/h	0.67	0.40 kL/h	0.50	1.00	0.54	-	0.40	
2	NO.2 暖房用ボイラー 項1号 H23.4	A重油	0.2	0.89	0.54 kL/h	0.67	0.40 kL/h	0.50	1.00	-	0.54	0.40	
3	NO.3 蒸気ボイラー 項1号 H21.11.1	都市ガス 13A	0	0.65	120 Nm <sup>3</sup> /h	0	95 Nm <sup>3</sup> /h	0	1.075	-	0.13	0.10	
4	コージェネ用ガスタービン 項31号 H13.9.14	都市ガス 13A	0	0.65	650 Nm <sup>3</sup> /h	0	600 Nm <sup>3</sup> /h	0	1.075	-	0.70	0.65	
5	廃棄物焼却炉 項13号 H7.9.16	都市ガス13A 都市ゴミ	0 0.1	0.65 0.76	40 500 Nm <sup>3</sup> /h kg/h	0.26	40 500 Nm <sup>3</sup> /h kg/h	0.26	1.075 0.45	-	0.27	0.27	脱硫効率25%
6													
7	イオウ分の荷重平均値を算出し入力してください。 例) (0.54 × 0.2 + 0.54 × 0.2 + 0.13 × 0 + 0.70 × 0 + 0.23 × 0.1 + 0.04 × 0 + 0.23 × 0.1) ÷ (0.54 + 0.54 + 0.13 + 0.70 + 0.04 + 0.23) = 0.11%				W及びWiはばい煙発生施設の設置時期によって変わります。 詳細については前項 別紙1 記入要領の⑮及び⑯を参照ください。 計算方法は、【④定格使用量 × ⑥換算係数】です。 ※注 ばい煙発生施設の重油換算量を算出する方法と異なります。 【参考：ばい煙発生施設の重油換算量】 都市ガス使用の場合：A重油10Lに対して16Nm <sup>3</sup>				原燃料が複数ある場合は各々を合算します。 例) 都市ガス13A: 40Nm <sup>3</sup> /h × 1.075 ÷ 1000 = 0.04 (i) 都市ゴミ: 500kg/h × 0.45 ÷ 1000 = 0.23 (ii) i + ii = 0.27 kL/h				
8													
計				0.11 ⑫							1.64 ⑯	1.82 ⑰	

(2) 工場全体のSO<sub>x</sub>排出量適合表

SO<sub>x</sub>排出量 ≤ SO<sub>x</sub>許容排出量 でなければなりません。

	W (kL/h)	Wi (kL/h)	SO <sub>x</sub> 許容排出量 (Nm <sup>3</sup> /h)	SO <sub>x</sub> 排出量 (Nm <sup>3</sup> /h)
定格運転時	⑮ 0.54	⑯ 1.64	Q ⑱ <b>2.00</b>	⑲ <b>1.61</b>
通常運転時	⑰ 1.82		Q' ⑲ <b>1.67</b>	⑲ <b>1.26</b>

⑱	$Q = 2.01W^{0.85}$ Wiがある場合には次式で計算してください。 $Q = 2.01W^{0.85} + 0.3 \times 2.01\{(W+Wi)^{0.85} - W^{0.85}\}$
⑲	$Q' = Q \times W' / W$ Wiがある場合には次式で計算してください。 $Q' = Q \times W' / (W + Wi)$

